

茨建協

ニュース

IBAKENKYOU NEWS

2026.10 NO.687



いばらき建設フォトコンテスト2025

Web作品 A部門 入選 『時間が眠る場所』 山口 弘

CONTENTS

- 全建の関東ブロック会議で国と意見交換
- 県や市町村の入札参加受付11月11日から
- 県西3支部が女性交流会
- 建設フェスタ2026を開催

発行：一般社団法人 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

☎ 029-221-5126(代)

編集：日本工業経済新聞社・水戸支局

<http://www.ibaken.or.jp/>

資材不足・価格急騰へ対応を

関東甲信越ブロック会議で要望

全国建設業協会（全建）による令和8年度の関東甲信越地方ブロック会議が10月7日、都内の経団連会館で開催されました。本会からは「世界情勢に起因する建設資材不足・価格急騰への対応」について要望し、理解を求めました。会議では国土交通省の幹部などを招き、各都県協会からの要望事項等について意見を交わしました。

関東甲信越地方建設業協会長会の渡邊一郎会長（神奈川県）は「地域建設業界が地域の守り手として、社会インフラ整備や災害復旧活動を行っていくためには、担い手の確保、建設DXによる生産性の向上、安定的な経営環境の確保などさまざまな課題がある。意見交換会を通じて、連携が深まり建設業界に明るい未来が訪れることを祈念する」とあいさつ。

国土省不動産・建設経済局の須藤明夫局長は「公共工事設計労務単価の引き上げなどの取り組みを通じて、将来に希望が持てる魅力的な建設業に向け、力を合わせ取り組んでいく」と述べました。

全国建設業協会の今井雅則会長は「地域の守り手として重要な役割を担う建設業を将来にわたって持続させていくため、担い手の確保や処遇改善、働き方改革の推進、生産性の向上などの諸課題に取り組み、若い世代から選ばれ、働く世代からも魅力と誇りを感じてもらえる産業の実現を目指していく」との考えを示しました。



各都県協会からの要望事項等について意見を交わしました

針の再考（千葉県）

- ◆人材確保・育成に向けた取り組みについて（栃木県）
- ◆地域建設業におけるDXの推進とAIの活用について（群馬県）
- ◆小規模建設業者に対する歩掛などへの配慮について（山梨県）
- ◆公共建築工事における適切な積算数量について（神奈川県）
- ◆世界情勢に起因する建設資材不足・価格急騰への対応について（茨城県）
- ◆低入札価格調査基準の見直しについて（長野県）
- ◆国土強靱化の推進に向けた中山間地域の建設業の維持・存続について（新潟県）

会議における各協会からの要望事項

- ◆公共事業予算の安定的・継続的な確保について（埼玉県）
- ◆直轄工事における週休2日制の取り組み方

11月11日～12月11日に受付
茨城県と40市町村

令和9・10年度入札参加資格審査

茨城県土木部監理課は、令和9・10年度の建設工事入札参加資格審査の定期受け付けを11月11日～12月11日までの期間で行います。県内40市町村との共同受け付けとなります。等級別やその他評価項目は令和7・8年度から継続です。主な改正点として、ICT施工の評価項目の

確認書類を拡大します。また定期受け付けとしては、確認書類の提出先が初めて「県入札参加資格共同受付センター」となるほか、郵送としていた格付審査結果はペーパーレスの観点から原則、監理課ホームページでの公表となります。

令和9・10年度 茨城県建設工事格付け対象業種

業種	等級	技術者基準	許可区分	法定外労災保険	総合点数基準	発注標準金額
土木	S	12 人 (5 人)	特定	加入	1120 点以上	4000 万円以上
	A	5 人 (2 人)			900 ～ 1119 点	3000 万円以上 2 億円未満
	B				720 ～ 899 点	1000 万円以上 3000 万円未満
	C				719 点以下	1000 万円未満
建築	S	9 人 (5 人)	特定		1040 点以上	4000 万円以上
	A	4 人 (2 人)	特定		900 ～ 1039 点	3000 万円以上 2 億円未満
	B				680 点 ～ 899 点	1000 万円以上 3000 万円未満
	C				679 点以下	1000 万円未満
電気	A	6 人			870 点以上	1000 万円以上
	B				869 点以下	1000 万円未満
管	A	4 人			740 点以上	1000 万円以上
	B				739 点以下	1000 万円未満
舗装	A	5 人			920 点以上	1000 万円以上
	B				919 点以下	1000 万円未満

注) 技術者基準は、直近の総合評価値通知書に記載された技術職員数の計。カッコ書きは1級技術者数で内数

公共事業予算確保を 会長会議で国交省へ要望

全国建産連



全国建設産業団体連合会（全国建産連、石津健光会長）の会長会議が9月29日に長崎市のホテルニュー長崎で開催されました。提案議題では、最多となる16府県が「公共事業予算の安定的・持続的な確保」を国土交通省に要望。石津会長は「地方の中小建設産業が持続可能な魅力ある産業となるよう課題を整理し、要望活動を実施していく」と述べました。

本会の4社3名受賞

建災防全国大会・安全衛生表彰



第63回全国建設業労働災害防止大会が10月8日と9日に新潟県新潟市内の朱鷺メッセ国際会議室などで開かれ、安全衛生表彰として本会から優良賞4社、功労賞1名、功績賞2名が受賞されました。受賞者は次の通りです（敬称略）。

- ◆優良賞＝(株)吉田組、(株)松永工務店、高塚建設工業(株)、松野建設(株)
- ◆功労賞＝木村晃（大昭工業(株)）
- ◆功績賞＝香取松夫（大近建設(株)）、横田吉孝（常総開発工業(株)）

建設フェスタ 2026開催

子どもたちに建設業の魅力を発信

本会をはじめとする県内の官民の建設関連団体は9月26日、「建設フェスタ2026」を、ひたちなか市の笠松運動公園の特設会場で開催しました。悪天候の中、各地から約8500人が来場。昨年に行われたミニ上棟式では、雨雲を吹き飛ばす子どもたちの賑やかな歓声が上がったほか、建設重機ショー、親子競演丸太切り、建設作業体験リレー、重機の試乗などに親しんでもらいました。出展した各団体は、建設業の魅力や公共事業の必要性などを存分にPRしました。



ミニ上棟式が盛況



スーパーボールすくい



建設作業体験リレー



親子共演丸太切り



皆で記念撮影

県内活用事例を共有 DX・ICT技術で情報交換 県DX・i-Con連絡会

関東地方整備局や茨城県土木部、本会で構成する「茨城県DX・i-Construction推進連絡会議」（会長＝佐々木哲也常陸河川国道事務所長）が9月2日に開かれ、受発注者各機関でのICTやBIM/CIMの活用事例、講習会の開催など普及に向けた情報共有と意見交換が行われました。

本会からは鶴田哲男土木委員長、高橋修一人財開発委員長、長山朋之建設未来協議会副会長が出席しました。

本会では、ICT技術の普及に向けて国や県が実施する各種支援方策に参画するほか、各種ICT関連の講習会・研修会を開催していることを報告。

来年1月18日から3日間にわたり、無人航空機操縦士の育成講習会を常陸大宮市西部総合公園等で開催することを話しました。ドローン操縦

基礎知識、基本飛行操作、飛行練習、座学などが行われる予定です。

また、来年2月3日、4日には、無人航空機安全機能証明証の取得を目的に、座学筆記試験、実技試験、測量の基礎講習などが2日間にわたって行われる予定です。



先達に感謝と無事故祈願 顕彰と慰霊へ法要

本会は9月24日、建設功労者顕彰碑と建設労働災害殉職者慰霊碑が建立されている耕山寺（常陸太田市瑞龍町）で法要を執り行いました。当日は、石津会長をはじめ協会幹部らが参集。協会の発展に尽力した功労者に対して感謝の祈りを捧げるとともに殉職者を慰霊し、工事の安全と無事故を祈願しました。

顕彰碑と慰霊碑は1994年（平成6年）8月に耕山寺に建立。以来、顕彰碑には協会の発展に尽力された方々を、慰霊碑には建設労働災害により殉職された方々がまつられています。

石津会長は「協会発展のため、ご尽力いただいた先達の方々に感謝の祈りを捧げた。また殉職さ

れた方々のご冥福をお祈りし、今後の無事故無災害を祈念した」と述べています。



水戸支部

献血活動を実施

竜ヶ崎支部

水戸支部（田口恵一郎支部長）は9月11日、「愛の献血会」を水戸市の県建設技術研修センターで開催しました。44回目となる今回は、会員企業の従業員ら134人が協力し貴重な血液を提供。田口支部長は「毎年多くの人に参加してもらい感謝している。特に若手技術者・社員の参加にはありがたく思う。こうした活動を続けることが大切。今後も支部として継続して協力していきたい」と話しました。



水戸支部

竜ヶ崎支部（細谷武史支部長）は9月7日、献血ボランティア活動を実施しました。支部会員および龍ヶ崎市建設業組合会員合わせて約80人が献血に協力。また会場では令和8年熊本地震・令和8年8月千葉豪雨災害義援金の募金活動も合わせて行いました。細谷支部長は「全国各地で自然災害が多発している中、できる時にできる範囲で地域貢献活動を続けたい」と、開催の意義を語っています。



竜ヶ崎支部

水戸支部
活動報告意見交換会で
現場課題共有

水戸支部（田口恵一郎支部長）と茨城県水戸土木事務所（成瀬真勝所長）は9月4日、意見交換会を水戸合同庁舎で実施しました。支部からは総合評価方式による工事発注の拡大や設計図書の精査、発生土の運搬先の明確化など11項目について、意見・要望。田口支部長は「発注者、施工者双方の立場を踏まえながら、忌憚のない意見交換を行い、有意義な会にしたい」とあいさつしました。

鉾田支部
活動報告令和8年度
安全衛生大会開く

鉾田支部（羽生義隆支部長）は9月15日、安全衛生大会を鉾田支部会館にて開催しました。会員ら約80人が出席し、講話やスローガンを通じて安全意識を再確認しました。冒頭、羽生支部長が「災害時に最前線で活動する地域の守り手として、建設業の役割は年々大きくなっている。大会を機にさらなる安全衛生活動に取り組み、誰もが安心安全で快適に働ける職場づくりを」とあいさつしました。

知ってほしい、より安心の制度

法定外労災
補償制度

建設共済保険

お問い合わせ 公益財団法人 建設業福祉共済団

フリーダイヤル 0120 - 913 - 931

URL : <https://www.kyousaidan.or.jp/>

掛金負担が軽減

手厚い補償

労働者と企業のリスクをカバー

高校教諭が現場見学

生徒進路指導の参考に



本会は8月28日、土木建築関係の学科を有する県立高校の教員14名を対象とした現場見学会を、鉾田・大洗広域事務組合の「新ごみ処理施設建設工事現場」で実施しました。高校生の進路指導などを行う教員たちに、社会資本整備の重要性や建設業の役割について理解を深めてもらい、生徒指導などに役立ててもらうため毎年開催しています。

労災防止の功労者を表彰

県産業安全衛生大会

建設業労働災害防止協会茨城県支部（石津健光支部長）など県内の労働災害防止団体による令和8年度茨城県産業安全衛生大会の各種表彰が、10月2日に水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館で執り行われました。

主な受賞者は次の通りです（敬称略）。

- ◆茨城労働基準協会連合会長表彰（事業場賞）
＝常総開発工業㈱（神栖市）
- ◆建設業労働災害防止協会県支部長表彰
・事業場賞＝大城建設㈱（北茨城市）、野上建設㈱（常陸大宮市）、㈱赤塚土木興業（つくばみらい市）、栗山工業㈱（美浦村）、㈱波崎建設（神栖市）
- ・現場賞＝山下工業㈱（境町）、瀬谷建設㈱（常陸太田市）
- ・功績賞＝大曾根理一郎（㈱大曾根建設、ひたちなか市）、川田秀樹（㈱川田建材工業、筑西市）、羽子田弘之（㈱高田工業所鹿島事業所、神栖市）
- ・職長賞＝齋藤成久（㈱藤田工務店、大子町）



令和8年度

茨城県技術者表彰受賞者

（9月表彰分）
※受賞者（企業名）
敬称略

【水戸土木事務所長表彰】

- ◆渡邊知久（㈱大貫工務店）
- ◆大谷光嗣（㈱サトウ塗工社）
- ◆長尾博士（昭和建設㈱）
- ◆石渡 仁（高橋建設工業㈱）
- ◆照山新悟（田口建設工業㈱）
- ◆小池良一（㈱小池工務店）
- ◆千葉雄紀（仙波建設㈱）
- ◆松本幸夫（㈱拓実）
- ◆白土 聡（㈱小林工業）
- ◆福田絵里菜（㈱沼田機業）
- ◆秋山和仁（宇野建設工業㈱）
- ◆工藤浩司（㈱潤沼建設工業）
- ◆石井 知（㈱柳田組）
- ◆吉井仁志（㈱東海組）
- ◆大貫禎彰（㈱大貫工務店）
- ◆矢口 大（㈱綿正工務店）

【潮来土木事務所長表彰】

- ◆安養寺光（松崎建設㈱）
- ◆野毛勇作（水郷建設㈱）
- ◆大原栄一（㈱郡司建設）
- ◆石津松吾（石津産業㈱）
- ◆今泉隆弘（㈱松崎土木）
- ◆高橋岩男（㈱飛田工務店）
- ◆山上智司（三光建設㈱）
- ◆前野友希（㈱大平工業）
- ◆宮川大地（㈱ホソヤ工務店）
- ◆大川雅司（㈱菱木土建）

【筑西土木事務所長表彰】

- ◆中島純一（㈱川田建材工業）
- ◆奥谷正城（白田工建㈱）
- ◆横内真文（㈱柴建設）
- ◆山中有入（古沢建設㈱）
- ◆酒寄翔太（㈱アロウズ）
- ◆磯 大樹（㈱小倉工務店）
- ◆増山裕一（㈱ワイエスケイ）
- ◆佐谷大樹（小貫建設㈱）
- ◆中村和雄（飯田建設興業㈱）
- ◆吉田和代（大和土建㈱）
- ◆鬼澤将隆（総合開発協同組合）
- ◆落合光夫（㈱仁平工務店）

【常陸太田工事事務所】

- ◆本多 誠（㈱梅原工務店）
- ◆鈴木康之（㈱井坂組）
- ◆小田倉益実（㈱岡田建設）
- ◆生田目勝義（㈱生田目工務店）
- ◆石井 智（㈱石井建設）

※現場代理人感謝状

- ◆櫻井信市（㈱水府工務店）
- ◆古市 彰（㈱後藤工務店）
- ◆岩佐宗則（㈱根本工務所）
- ◆綿引章浩（㈱岡田建設）
- ◆久具謙吾（㈱飛田組）

【鉾田工事事務所長表彰】

- ◆伊東優考（㈱伊東建設）
- ◆根崎 亮（㈱根崎工務店）

◆鈴木 要（㈱栗原工務店）

- ◆田口一樹（藤枝建設㈱）
- ◆鈴木恭祐（㈱鈴木工務店）
- ◆大川真佐実（鬼澤建設㈱）
- ◆高田敏志（㈱羽生工務店）
- ◆田中淳一（㈱田中工務店）
- ◆森川 浩（藤崎建設工業㈱）
- ◆田口正人（㈱内田建設）
- ◆新堀進也（㈱新堀産業）
- ◆菅谷よう子（㈱菅谷工務店）
- ◆吉川菊生（㈱光建）
- ◆亀井泰成（㈱田口建設工業）
- ◆土子卓也（㈱土子建材）

【境工事事務所】

- ◆中村なおみ（㈱中村組）
- ◆鈴木徳夫（小沢道路㈱）
- ◆平井一嘉（㈱新井建設工業）
- ◆荒川和輝（㈱福島工務店）
- ◆山下祐史（山下工業㈱）
- ◆竹村 昇（加藤建設工業㈱）
- ◆石原哲夫（㈱幸土）
- ◆宇都木和廣（宇都木建設㈱）
- ◆横島義勝（森田建設工業㈱）
- ◆高野博文（㈱タカノ重機土木）
- ◆青木康裕（㈱野口組）
- ◆新井一徳（中和建設㈱）
- ◆田鎖由也（㈱丸健工業）
- ◆吉澤康章（㈱山広建設）

やりがいや悩み意見交換
県西3支部

常総支部の中川原勇支部長は「現場や事務など、職種はさまざまかと思うが、それぞれの立場で、楽な気持ちで交流会を楽しんでいただきたい」と話しました。

〈代表者変更〉

塚本建設(株) 塚本 正延 → 白川 勝彦
(株)根崎工務店 根崎 茂 → 根崎 亮

〈住所変更〉

塚本建設(株) 〒311-3508 行方市沖洲178 →
〒311-3508 行方市沖洲905-1

生活道路における自動車の法定速度が引き下げられます!!

令和8年9月1日
改正道路交通法施行令施行

60 km/h → 30 km/h

▼ 以下の道路における自動車の法定速度は引き続き60km/hです ▼

1 道路標識又は道路標示による
中央分離帯
警備道路等が
附設されている
一般道路

2 道路の幅員又は
幅員が20m以上の
幅員が5m以上の
付帯の道路が
附設されている
一般道路

3 公道に非ずとも、全線
警備運行にこれに準ずるもの
警備付道路標識以外のも
の自動車専用道路

4 自動車専用道路

● 警備標識又は道路標示により最高速度の指定がない道路では、公道の幅員が20m以上の道路を除き、幅員が20m未満の道路は、幅員が20m以上の道路と同等と見做され、法定速度が引き下げられます。

● 幅員が20m未満の道路内であっても、道路が交通の妨け、災害の防止と見做る場合、安全を確保するために、

警察庁・都道府県警察

建退共にご加入のみなさまへ

オンラインで
もっと早く、
もっと手軽に。

建設現場労働者のための退職金制度

建退共

K E N T A I K Y O

茨城県支部ホームページ
全面的にリニューアルしました。
詳しい情報はこちら

建退共茨城県支部

<https://www.kentai-kyo-ibaraki.com/>



申請や書類管理の
時間や手間を
大幅に軽減できます。

- ① オンラインで業務効率化!
- ② 工事関係書類の電子化にも対応!
- ③ 発注機関等への提出作業が軽減!

各種の管理も
専用サイトで
オンライン完結!

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業 茨城県支部
水戸市大町3-1-22 (茨城県建設センター内)